歸せしめ、同時に右翼團體總聯合の創立に當つて幾多の組合を參加せしめることが困難であるため、偏に組合會議の成立を妨害し不成立に終らしめる陰謀なのである。そしてこの不成立は、彼等右翼要切幹部の陰謀は敢くもその所期の目的を達し、成功を贏ち得、彼等の企劃通りの目標に向つて進みつゝあることを現すのである。

吾等は斯る右翼總聯合計劃に斷乎として反對するものである。何故ならば、それは全く我國現下の社會情勢の現實を認めざることであり、且また勞農大衆の現實の欲求と輿望とを代表し、信賴されて鬪爭する大衆團體として採るべき態度では斷じてないからである。

支配階級は勞農大衆の鬪爭を薄弱ならしめ、鋒先を鈍しさせるために、凡ゆる手段を策して不斷に分裂の魔手を延ばして居る。右翼團體總聯合の成立は、結局に於いて支配階級の策ぜる分裂政策の罠に陷ることを意味し、資本家及地主階級の賞賛を博する以外の何物でもあり得ない。のみならず勞農大衆の欲求と希望とを裏切る、それこそ正に勞農大衆の嘲笑と憤懣を買ふところの非階級的行動と云はざるを得ないのである。

全國組合會議結成準備會の申合せを、單なるその場限りの決議に終らしめることは、階級的忠誠を誓へる大衆團體として、なすべきことでないことを確信する。されば吾等は六月廿日の申合せを實行するために、今後益々僚友團體と協力し、全國勞農團體の共同戰線たる全國組合會議結成のために、より一層の努力をすることを聲明するものである。

大正十五年八月三十日

日本勞働組合評議會

第三回中央委員會

× × × ×

× × × ×